

とよしの健全性、安全性、成長性

自己資本比率

2021年9月期における、とよしの自己資本比率は、国内基準の4%、国際基準の8%を大きく上回る**10.21%**となりました。自己資本比率は金融機関の経営体力を示す指標であり、皆様に安心してお取引いただけますように、今後とも「堅実経営、健全経営」を行ってまいります。

不良債権比率

●金融再生法に基づく開示債権比率 (総与信に対する不良債権比率)

金融再生法に基づく不良債権比率は、**2.88%**と、2021年3月期に比して**0.28**ポイント上昇しました。

●信用金庫法に基づくリスク管理債権比率 (貸出金残高に対する不良債権比率)

信用金庫法に基づく不良債権比率は、**2.89%**と2021年3月期に比して**0.28**ポイント上昇しました。

預金積金残高

預金積金残高は、地域の皆様よりのご信頼のもと、**1兆7,217億円**と2021年3月期に比して**102億円**の増加となり、堅調に推移しました。

融資金残高

融資金残高は、住宅ローンなど個人ローンを中心に地域の皆様への積極的な取組みにより、**8,505億円**と2021年3月期に比して**110億円**の増加となりました。

収益状況 (業務純益、経常利益、当期純利益)

2021年9月期(上半期決算)は、業務純益**15億円**、経常利益**14億円**、当期純利益**10億円**となりました。また、2020年3月期より開示を追加している実質業務純益は**15億円**、コア業務純益は**14億円**となりました。

内部留保

とよしの財産である会員勘定(出資金・特別積立金等)は**749億円**となり、より内部留保を充実することができました。

自己資本比率の状況

2021年9月末の当金庫の自己資本比率は**10.21%**となりました。自己資本比率は、金融機関の経営体力を示す指標であり、出資金・利益準備金・特別積立金等の「自己資本の額」を「分子」として、各資産にリスク・ウェイトを乗じた合計額の「リスク・アセット」を「分母」として算出します。

① 自己資本の額

(単位:百万円)

項 目	2021年9月期
コア資本に係る基礎項目	75,518
出 資 金	850
利 益 剰 余 金	74,092
外部流出予定額(△)	50
一般貸倒引当金	625
コア資本に係る調整項目(△)	254
合 計(自己資本の額)	75,263

② リスク・アセット

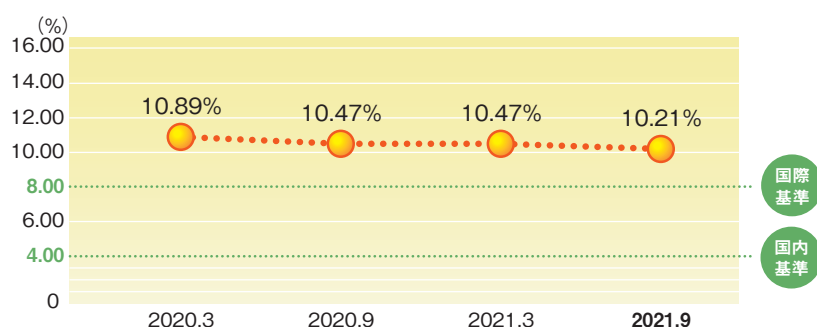
(単位:百万円)

項 目	資産の額	リスク・アセット
オン・バランス取引	1,836,602	710,432
オフ・バランス取引	45,790	2,081
C V A リ ス ク	—	0
オペレーショナル・リスク	—	24,154
合 計	1,882,392	736,668

◆リスク・アセットの詳細については、バーゼルⅢ 第三の柱に関する定量的な開示事項をご参照ください。

自己資本比率(①自己資本の額÷②リスク・アセット) ➡ $75,263 \div 736,668 = 10.21\%$

●自己資本比率の推移



自己資本は順調に増加していますが、直近の自己資本比率の低下につきましては、主に地域の皆様への貸出金増加が要因です。